

ネットワーク（遠隔監視）と クライアントソフトの手引き

NSK_DVR



目次

ネットワーク機能編

利用規約	3
1. ネットワーク構築イメージ	5
2. ネットワークアクセス方法	5
3. ネットワーク環境の確認	6
4. ネットワーク設定について	6
5. DVR の設定	7
DDNS/2ND STREAMING/QR CODE	8

ネットワークソフトウェア編

1. 中央監視システムソフトウェア 概要 (Net Client)	9
1-1 プログラミングのインストール	9
1-2 ログイン	10
1-3 メイン画面	10
1-4 コントロールバー	11
2. 各種操作	14
2-1 DVR 登録	14
2-2 録画データの再生 (リモート再生モード)	16
2-3 再生速度の操作	17
2-4 その他の操作	18
2-5 バックアップ操作	18
2-6 バックアップデータの再生	21
3. 設定変更	23
3-1 設定画面の表示	23
3-2 各画面について	23
①ユーザー	23
②DVR	24
③グループ	24
④カメラ	25
⑤システム	26
⑥イベント	27
⑦権限	28
⑧インターフェイス (1.1.1.0 以降)	29
⑧PTZ (1.0.4.15 以前)	29
スマートフォン使用 (ProEYE2)	31
遠隔監視の DVR 登録方法	32
proeye2 再生方法	33
NetClient 再生方法	34

■ネットワーク機能及び DDNS サービス利用規約

ご利用頂くにあたり、以下の規約をお読み頂き、同意の上ご利用下さい。

第 1 条

本規約の適用範囲

本規約は、本機器のネットワーク機能利用者に適用されます。

第 2 条

本サービス本サービスはローカル／ワイドエリアネットワーク [LAN/WAN] 等を利用して、本機器への遠隔アクセスができることをいいます。本サービスを利用するには主に下記の方法があります。

- ・ローカルワイドエリア [LAN] のみ利用可能なネットワーク構築
- ・固定 IP サービスを利用したネットワーク構築
- ・当社 DDNS サービスを利用したネットワーク構築

ただし、本サービスの動作を完全に保証するものではありません。

第 3 条

利用に関して

利用者が本サービスの利用にあたっては本規約を遵守する責務が発生します。

第 4 条

禁止事項本サービスの利用にあたって以下の行為は禁止いたします。

他の利用者、第三者、当社、もしくは当社のプライバシー、著作権その他の権利を侵害し、または侵害する恐れのある行為

公序良俗に反する行為、またはその恐れのある行為犯罪行為、または犯罪行為の恐れがある行為虚偽の情報による利用転売や有料による斡旋など営利目的、またはその恐れがある行為前項その他、当社が不適切と判断する行為。

第5条

当社 DDNS サービスの中止及び中断当社は以下の事項に該当する場合には事前の通知することなく、本サービスを中止または中断することができるものとします。この場合、本サービスの中止または中断において利用者に発生した損害についてはいかなる場合においても、当社は一切の責任を負わないものとします。

当社が行う定期または緊急のメンテナンスが行われた場合本サービスの機器設備の保守などやむをえない事由が生じた場合火災、洪水、交通機関の運行の停止や遅延、電気通信の障害や遅延が生じた場合ウイルスの配布やクラッキングが行われた場合戦争、暴動、内戦等が発生したとき、または通商を禁止する措置がとられた場合非常事態が発生または発生するおそれがある場合

当社が本サービスの運用を停止することが望ましいと判断した場合

第6条

免責事項利用者が本サービスを利用することにより、利用者ならびに利用者以外の第三者に迷惑または損害を与えた場合には、利用者は自己の責任と負担において当該第三者との紛争を解決するものとし、いかなる場合においても、当社は一切の責任を負わないものとします。

また、不正侵入等により情報が漏洩した場合にも一切の責任は負わないものとします。

第7条

スマートフォンによる遠隔監視機能についてスマートフォンによる遠隔監視機能とは、上記第2条のネットワークサービスが稼働している環境下において、一般公開されたアプリケーションを使用しスマートフォン（タブレット PC などを含む通信機器）から遠隔アクセスを行うものです。

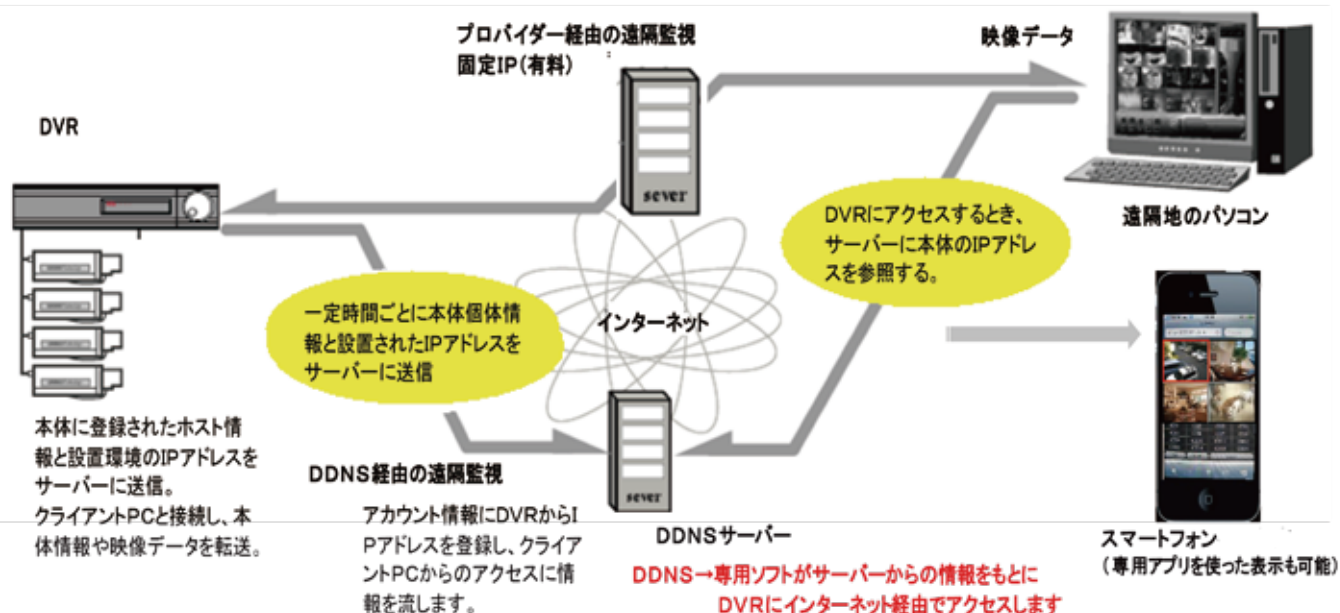
ただし、通信ネットワーク環境、各種スマートフォン、アプリケーションの複合的な機能を活用して行うものであるため、それぞれの環境要因により正常な運用を保障するものではありません。

付則このサービス利用規約は、2010 年 1 月 1 日に作定し、即日実施します。また、本規約内容は事前に通告することなく変更できるものとします。

ネットワーク機能

ネットワーク機能を利用するためには、ご利用のネットワーク環境に応じた設定が必要です。
事務所・店舗などではネットワーク環境が複雑なケースがございますので、ご契約のネットワーク管理会社様にご確認ください。

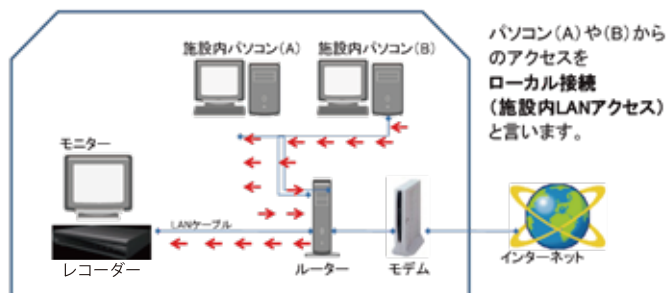
1. ネットワーク構築イメージ



2. ネットワークアクセス方法

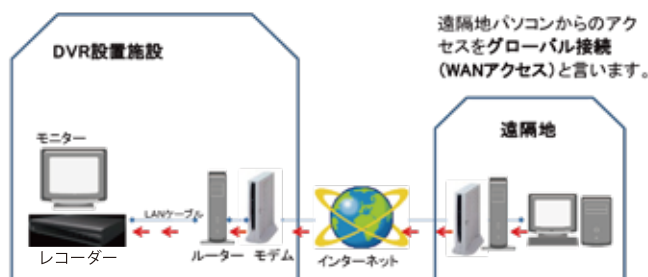
ローカル接続

DVRを設置した施設内でのみのネットワークアクセス



グローバル接続

遠隔地からインターネットを経由してネットワークアクセス



3. ネットワーク環境の確認

ローカル・グローバル共通

パソコン動作環境

OS ————— Windows/XP/Vista/7/8/10 (Mac 非対応)

CPU ————— Pentium 4 プロセッサ 1.7GHz 以上

メモリ ————— Vista/7 : 2GB 以上

グラフィックメモリ — 64MB 以上

HDD ————— 1GB 以上 (バックアップする場合はそれに応じた容量)

ブラウザ ————— Internet Explorer 6.0 以降

ブロードバンドルーター

IP アドレス変換 [NATP/IP マスカレード] に対応

DVR・LAN ケーブル (イーサネット)

グローバル接続 (遠隔監視)

インターネット環境 (光回線などのブロードバンド推奨)

固定 IP アドレス・または DDNS サービス---

4. ネットワーク設定について

※本機器をご利用の施設においてネットワーク管理者が存在する場合、管理者の指示に従って設定を行ってください。

本機器を PC やスマートフォンで閲覧するためには

1. 本機器をインターネットに接続しているルーターに接続し、

IP アドレス・ポートの設定を行う。→P7

2. ご使用のルーターに本機器用にポート開放 (ポートマッピング・TCP ポート) の設定を行う。

3. 閲覧用ソフトをお使いのデバイスに合わせインストールし、本機器の情報を登録する。

→P. 10 (PC) P. 31 (スマートフォン)

ご利用中のネットワーク環境は様々です。必要に応じた機器設定を行ってください。

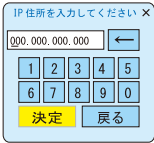
5. DVR の設定

メインメニューの「基本設定」→「ネットワーク」→「設定」の順にクリックして下記設定画面を表示させます。※機種によって項目名が違ふことがあります。

[設定]

5.1.6. ネットワーク ネットワークによる遠隔監視や、LAN 内接続について設定します。詳しくは別紙をご覧ください。

5.1.6.1. 設定

基本設定	画面設定	カメラ	録画	イベント	デバイス管理	ネットワーク	システム	終了
▶ 設定 DDNS サブストリーミング QR コード WiFi ホスト	タイプ	DHCP						
	IP アドレス	000.000.000.000						
	ゲートウェイ	000.000.000.000						
	ネットマスク	000.000.000.000						
	MAC アドレス	00:0E:B5:0X:XX:XX						
	クライアントポート	7621						
	WEB ポート	7622						
	バンド幅	UNLIMITED						
	UPNP	☐ 使用する ☐ 定期更新						
	UPNP 状態 (STATUS)	-----						
	ストリーミング方法	サブ (JPEG)						
Port Forwarding List				決定 ○ 戻る ×				

タイプ：「STATIC」、「DHCP」よりネットワークのタイプを選択してください。

○「STATIC」—お使いのネットワーク環境をチェックして、IP アドレス、ゲートウェイ、ネットマスクを手動で入力します。

※こちらの設定の使用を推奨します。

○「DHCP」—本機は自動的に IP アドレス、ゲートウェイ、ネットマスクを取得します。

I P ア ド レ ス：「STATIC」を選択した場合に設定します。仮想テンキーで数値を入力してください。

ゲ ー ト ウ ェ イ：「STATIC」を選択した場合に設定します。仮想テンキーで数値を入力してください。

ネ ッ ト マ ス ク：「STATIC」を選択した場合に設定します。仮想テンキーで数値を入力してください。

M A C ア ド レ ス：本機の MAC アドレスです。

ク ラ イ ア ン ト ポ ー ト：NetClient、ProEye2 で使用するポートです。

W E B ポ ー ト：Web ビューアやリモート設定で使用するポートです。

バ ン ド 幅：「UNLIMITED/64KBPS/128KBPS/256KBPS/512KBPS/1MBPS/2MBPS/4MBPS/10MBPS」の中より、ネットワークに適した速度を選択してください。

U P N P P：ユニバーサルプラグ&プレイ .UPNP を使用する場合はチェックボックスにチェックを入れます。

U P N P 状 態：UPNP の状態を表示します。

ス ト リ ー ミ ン グ 方 法：ネットワーク経由のライブ映像の圧縮方式を選択します。「メイン (H.264)」、「サブ (JPEG)」より設定します。

[DDNS] 確実な接続をご希望の場合は、ISP 等の固定 IP サービスをご使用ください。

基本設定	ネットワーク	画面設定	カメラ	録画	イベント	デバイス管理	ネットワーク	システム	終了	
設定	サーバー	オフ								
▶ DDNS	サーバー URL									
サブストリーミング	ユーザー ID									
QR コード	パスワード									
WiFi ホスト	グループ ID									
	ホスト名									
	状態	DDNS OFF								
		警告！不正アクセス対策のため 基本設定＞システム＞使用者で使用者パスワードの変更をお願いします。								
		接続テスト							決定	戻る

本機専用の DDNSCCTV.COM(AUTO) の利用をお勧めします。
(本機は DDNS 接続のために DYNDNS.COM、NO-IP.COM、DDNSCCTV.COM、もサポートしていますが、DDNS 機能を使用するにあたりアカウントをお持ちでない場合は、「www.dyndns.com」「www.no-ip.com」「www.ddnscctv.com」の何れかに PC でアクセスし、アカウントを作成して、ドメイン(ホスト)名を作成する必要があります。)

サ ー バ ー : ○「オフ」ネットワーク設定をされない方は、このままご使用ください。
○「DYNDNS.COM」、「NO-IP.COM」、「DDNSCCTV.COM」、「DDNSCCTV.COM(AUTO)」より DDNS サーバーを選択してください。

サ ー バ ー U R L : 何れかのサーバーを選択すると、自動で入力されます。

ユ ー ザ ー I D : DDNS サーバーのアカウント ID が必要な場合は、仮想キーボードで入力します。

パ ス ワ ー ド : DDNS サーバーのアカウントのパスワードが必要な場合は、仮想キーボードで入力します。

グ ル ー プ I D : 必要な場合は、仮想キーボードで入力します。

ホ ス ト 名 : DDNS サーバーで作成したドメイン(ホスト)名が必要な場合は、仮想キーボードで入力します。
※DDNS 接続に失敗した場合は、全ての情報が正しく入力されているかどうかを確認してください。

状 態 : 接続テストの結果が表示されます。(「…FAIL」、「…OK」)

接 続 テ ス ト : DDNS サーバーへの接続を確認する時は、この「接続テスト」を選択します。

[DDNS] 確実な接続をご希望の場合は、ISP 等の固定 IP サービスをご使用ください。

基本設定	ネットワーク	画面設定	カメラ	録画	イベント	デバイス管理	ネットワーク	システム	終了	
設定	CH	解像度	イベント録画 (fps)							
DDNS	1	D1	普通画質	4						
▶ サブストリーミング	2	D1	普通画質	4						
QR コード	3	D1	普通画質	4						
WiFi ホスト	4	D1	普通画質	4						
		D1 CIF より選択	低画質 普通画質 高画質 最高画質 より選択	1 2 4 8 15 より選択						
	全体	D1	普通画質	Max	1/2/4/8/15/MAX より選択 します。※() は PAL の場合です。					
		決定								戻る

ストリーミング方法がサブ (JPEG) の場合、本機は「解像度」、「画質」、「フレームレート」の異なるネットワークストリームを送信します。
ストリーミング方法がメイン (H.264) の場合、本機は録画パラメータで設定された解像度、画質、フレームレートでストリーム送信します。
「proeye」、「Net Client 1.0.4.15 以前」は、ここで設定した解像度で転送されます。
「Net Client 1.0.1.0 以降」は、ソフト側で、ここで設定した解像度を使用できます。

[QR CODE]

専用ソフト「Proeye2」から QR コードを読み込むことで、機器の情報がスマートフォンに自動に送られ入力の手間が省けます。DDNS を使用する場合にご使用ください。

1. 中央監視システムソフトウェア「NetClient」



○「Net Client」は、ネットワークに接続されている全ての DVR を監視できます。

セキュリティ管理者は、PC で簡単な操作で複数台の状況を制御することができます。

○プログラムの主な特徴は、次の通りです。

- ・リアルタイム画像をマルチ画面でモニタリング。
- ・画面上に最大 64 台のカメラの表示。
- ・様々な画面モードをサポート。(1, 4, 16, 25, 36, 64 スクリーン&シーケンスモード)
- ・遠隔再生 / バックアップ&ローカル再生 (バックアップファイルのビュー)
- ・遠隔制御 DVR の設定 / PTZ カメラの制御

○PC 用システム要件

- ・オペレーティングシステム : Windows XP/Vista/7/8/10
- ・CPU : デュアルコア以上
- ・RAM : 1GB 以上 (2GB 以上のメモリを推奨)
- ・VGA : 128MB グラフィックメモリまたは、それ以上

1-1. プログラムインストール

○付属の CD-ROM 内に保存されているプログラムファイルから「インストールプログラム」を実行してください。

○インストール後にアイコンがデスクトップに作成されます。ダブルクリックして起動します。



1-2. ログイン

ソフトウェアを実行すると、[図①] が表示されることがあります。その場合は、「はい」で実行します。

[図①]



続いて「ユーザーアカウント制御」のメッセージが表示されます。これも「はい」で実行し進みます。
ログインウィンドウ [図②] が表示されますので、ID とパスワードを入力します。（初期値：admin/0000）

[図②]



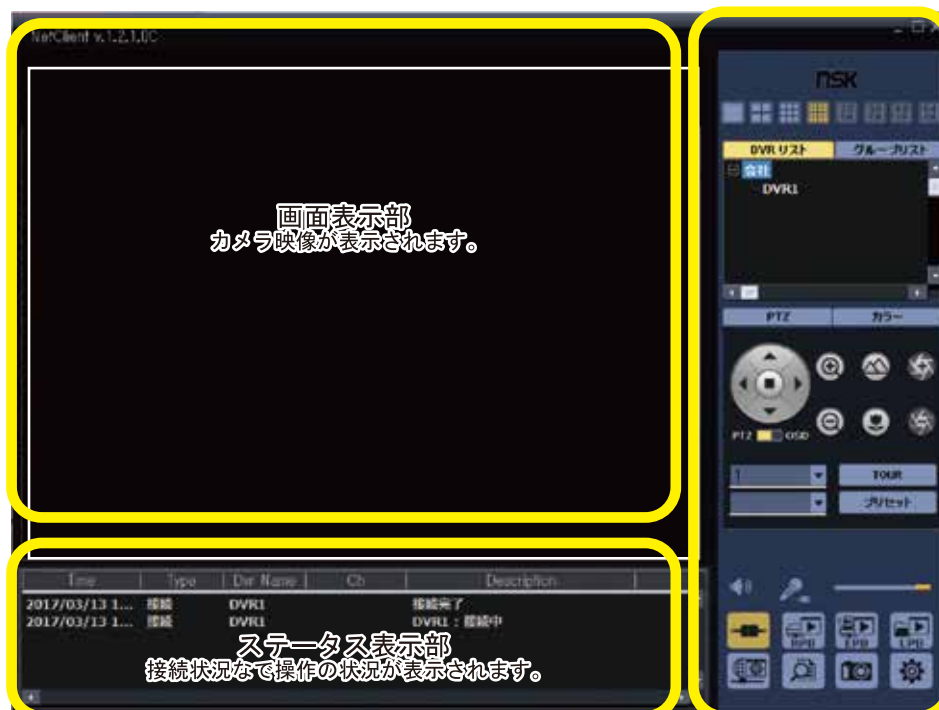
1-3. メイン画面 (1.1.1.0 以降)

ソフトの起動時は、映像が表示されません。

DVR をソフトに登録し、各アイコンで画面を切り替えるなど操作します。

各種アイコンは「コントロールバー」内に表示されています。

コントロールバー
操作ボタンが表示されます。



1-4. コントロールバー

操作ボタンが表示されています。各ボタンで、画面の切替やソフトの設定、DVR の遠隔設定などを行います。

●分割表示切替ボタン

表示画面を、「1/4/9/16 (/25/36/49/64)」分割表示画面に切り換えます。

単画面 - 分割画面への切替は、指定するチャンネル枠上でダブルクリックをしても操作できます。

※「25～」の表示は「グループ設定」で複数台の DVR を登録した場合にのみ有効となります。



●DVR リスト

「NetClient」に登録されている DVR を表示します。

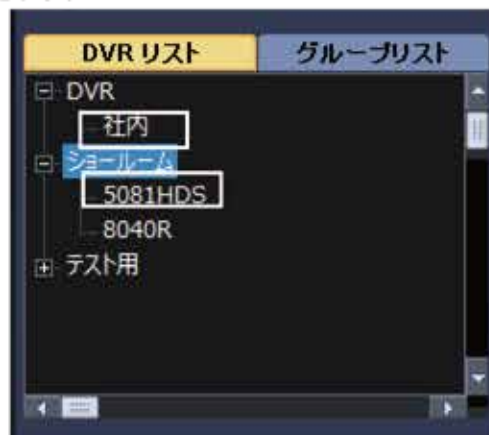
「DVR LIST」では、登録した DVR に個別にアクセスします。

「GROUP LIST」では、「Comfig」画面で作成したグループを表示します。作成されたグループへは、一度の接続で同時に複数台の DVR へアクセスし、登録した全てカメラ映像を分割表示させることができます。最大 64 台までカメラをグループ化できます。

アクセス時には、アクセスする DVR 名を選択し、画面下部の「接続ボタン」をクリックします。



の状態で接続済となります。

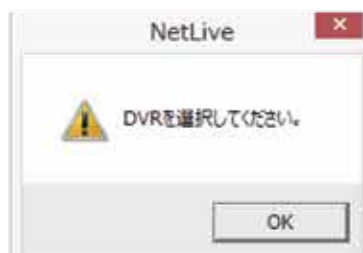


同様に、「GROUP LIST」でも同じ操作を行います。

その際は、グループ内すべての DVR へ接続し登録されたカメラ映像を表示します。



DVR を選択しないとエラー画面が表示されます。再度 DVR 名をクリックし選択してください。



● PTZ コントロール

DVR に接続された PTZ カメラを操作します。ボタンをクリックすると操作パネルが表示されます。

※操作は PTZ 機能対応カメラが接続されている場合に有効です（後述）



● カラーコントロール

画面表示の明るさなどを調整します。

ボタンをクリックし、それぞれのカーソルを移動させて表示調整します。

※単画面表示時のみ有効となります。

・ BRIGHT

明るさを調整します。

・ COLOR/SATURATION

色味を調整します。

・ CONTRAST

輝度を調整します。

・ COLOR/HUE

色彩を調整します。

・ DEFAULT

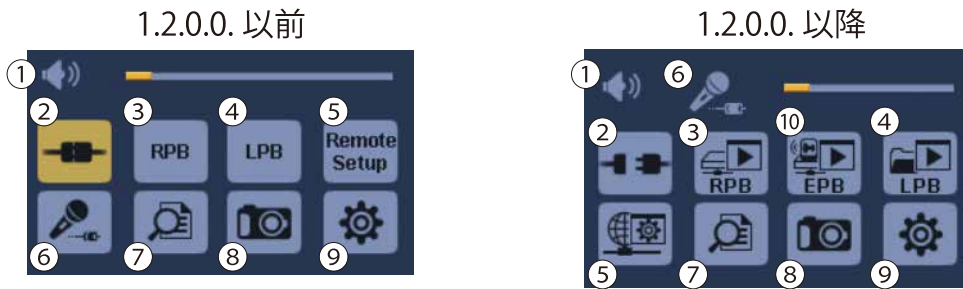
変更内容をすべて初期化します。



※この操作では、DVR 内の「DVR 設定」⇒
「カメラ」⇒「カラー」の項目内を操作
します。

●操作ボタン

前述の接続をはじめ、「遠隔再生画面」「ローカル再生画面」「遠隔設定画面」などの設定画面を表示したり、「スナップショット」を行います。また、NetClient の設定を行う「Config 画面」を表示させます。



①音声

音声のボリュームを調整します。

②接続

DVR へアクセス、または切断します。

③RPB (リモート再生モード)

NetClient から接続されている DVR の録画データを検索し、再生します。

④LPB (ローカル再生モード)

DVR 本体にてバックアップ操作で作成されたデータを検索・再生します。

⑤RemoteSetup (セットアップ)

接続中の DVR の録画設定など一部の設定を NetClient で遠隔操作して変更します。
※WEB ポートを使用します。

⑥両方向オーディオ

⑦イベントログ

接続中の DVR の操作履歴を検索し、表示します。

⑧スナップショット

⑨設定変更

NetClient 自体を設定します。DVR の登録や、グループ設定を行います。

⑩EPB (イベントサーチ)

NetClient から接続されている DVR の録画データを時間入力で検索し、再生します。

2 各種操作

ソフトの基本的な操作方法です。

2-1 DVR 登録

手順 1 NetClient を起動し、「設定変更」 を表示します。



←をクリックします。

手順 2 設定画面内の「DVR」を選択し、登録画面を表示します。

Setup Dialog

目次

- ユーザー
- DVR**
- グループ
- カメラ
- システム
- イベント
- 権限
- インターフェース

サイト名: DVR

DVR名: 社内

アドレス: 192.168.11.199

ポートNo.: 7621

ユーザーID: ADMIN

パスワード: ****

カメラチャンネル数: DVRタイプ

サイト名	DVR名	アドレス	ポートNo.	ユーザーID
DVR	社内	192.168.11.199	7621	ADMIN

手順 3 各項目に DVR の情報を入力します。

サイト名 ----- 登録する DVR の所属するグループ名を入力します。同じサイト名で登録することで個々の DVR を同一のグループに組み込みます。
※ツリー状の表示になり、サイト名の下に DVR 名が追記されます。

DVR 名 ----- DVR の所属が分かるように、DVR 名称を入力します。

アドレス ----- DVR のネットワーク設定で作成した DVR のアドレスを入力します。
DDNS アドレス、または IP アドレスを入力します。

ポートNo. ----- DVR のネットワーク設定した作成したポート番号を入力します。

ユーザー ID ----- DVR のログイン時に使用しているユーザー ID を入力します。

パスワード ----- DVR のログイン時に使用しているパスワードを入力します。

カメラチャンネル数――接続後自動で認識します。

最後に設定を保存します。画面下部の「保存」ボタンを押します。

画面右上の「×」で画面を閉じてください。

手順4「DVR LIST」に保存された設定が反映されます。



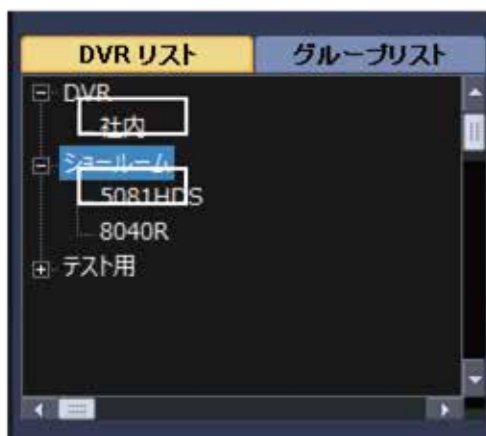
手順5「NetClient」に登録したDVRを選択します。

「DVR LIST」で、登録したDVRに個別にアクセスします。登録したDVRをクリックして、選択します。

アクセス時には、アクセスするDVR名を選択し、画面下部の「接続ボタン」をクリックします。



の状態で接続済となります。



同様に、「グループリスト」でも同じ操作を行います。

その際は、グループ内すべてのDVRへ接続し登録されたカメラ映像を表示します。



DVRを選択しないとエラー画面が表示されます。再度DVR名をクリックし選択してください。



2-2 録画データの再生（リモート再生モード）

接続中の DVR に保存された録画データを検索し再生します。

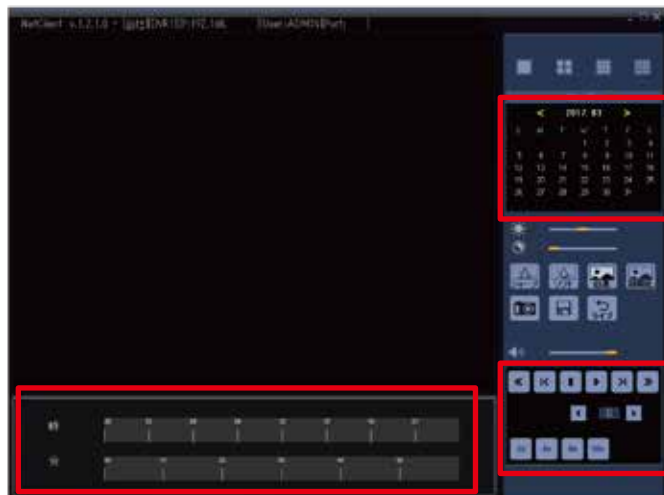
手順 1 再生した DVR をリストから選択し、リモートプレイバック画面（RPB 画面）を表示します。

※別ウィンドウが作成されます。



←をクリックします。

手順 2 切り替わった画面で、検索して再生する日時を選択します。



●カレンダー

録画データのある日をカレンダー表示します。

赤文字：データ有

白文字：データ無

●操作アイコン

再生、一時停止、早送りなどの操作を行います。

●時刻バー

録画データのある時間を表示します。

黄色：データあり

赤色：現在選択中の時刻

※黄色のバーが無い部分は、録画データがありません。

手順 3 再生操作

再生したい日、時、分の順に指定（クリック）して、再生を実行します。

P 9を参照して下さい。

1. 「カレンダー」から再生したい日をクリックします。

2. 画面下部の「時刻バー」から、再生したい時間をクリックします。

さらに同じバーの下段から分を選択します。

3. 分まで選択し終わったら、「操作アイコン」で再生を行います。

※各画面に時刻が表示されます。過去の日時になっていることを確認してください。

2-3 再生速度の操作

コントロールボタンで早送りと巻き戻し、コマ送りや一時停止を行います。

早送り速度、再生速度の変更も行えます。各ボタンの機能を確認して操作してください。

また図-1 図-2 のボタンで、再生速度を変えることができます。

① 巻き戻し

画像を巻き戻します。速度変更ができます。

※巻き戻し時は 1 秒単位で戻ります。

② 最初に戻る

一時停止中に操作します。

1 クリック毎に数秒単位で戻ります。

③ 一時停止

画像を一時停止します。

送り速度の変更は、一時停止時に
行います。

④ 再生

画像の一時停止を解除したり、通常の
速度での再生を行います。

また再生速度を速くできます。

⑤ コマ送り

一時停止時に操作します。

1 クリック毎に 1 コマ進みます。

⑥ 早送り

画像を早送りします。速度変更が
できます。

※巻き戻し時は 1 コマ単位で速く
進みます。

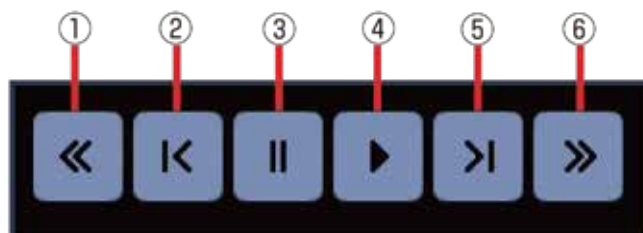


図-1 早送り / 巻き戻し速度の変更

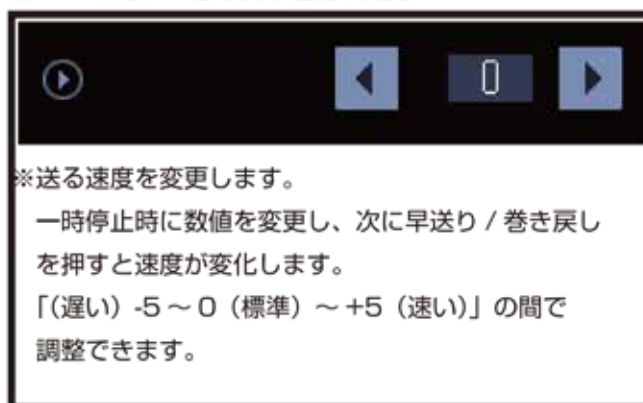
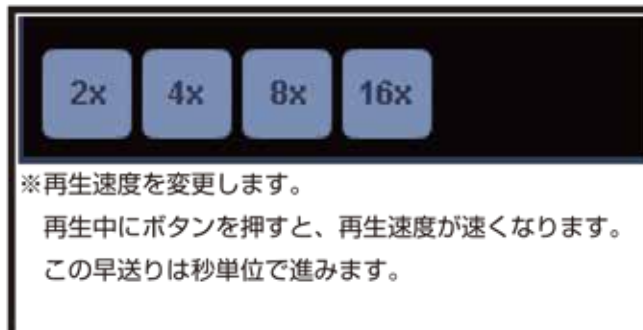


図-2 秒送り



2-4 その他の操作

再生中には映像表示の変更や、静止画保存などを行うことができます。

⑤-1 画面表示の調整

一時停止中に、単画面表示に切り替えて映像の明るさなどを調整します。操作アイコンを押して、表示を切り替えます。

ボタンの色が明るくなると操作が有効になります。

明るさ：画面の明るさを調整します。

コントラスト：画面の明暗を強調します。



※画面調整は、ボタンをクリックして
効果のオン / オフで効果を切り替えます。
※モニター表示にのみ反映されます。

Sharp：映像をシャープにします。

Soft：映像をソフトフォーカス状にします。

B/W：映像をモノクロ表示にします。

Default：効果を初期化します。



グレー：操作不可



薄い青：操作可
効果はオフ



グレー：効果はオン

2-5 バックアップ操作

再生中の映像の静止画を取得したり、再生データをパソコンへ移動させる操作を行います。

①スナップショット

単画面表示時で一時停止中に「スナップショット」ボタンをクリックすると、その瞬間の静止画を「BMP 形式 (.bmp)」で保存できます。



手順 1

ボタンをクリックすると、静止画ウィンドウが表示されます。「保存」をクリックすると、保存場所の選択画面が表示されます。お使いの PC の任意の場所に保存できます。

手順 2

「プリント」を選択すると、お使いの PC に接続されたプリンターを選択する画面が表示されます。任意のプリンターを選択し、印刷できます。



②バックアップ

分割画面表示時で一時停止中に「バックアップボタン」をクリックすると、「バックアップダイアログ」画面が表示されます。

バックアップファイルは、

- ・ AVI 形式（一般的な動画ソフトで再生可）
※ 1 チャンネル= 1 ファイルで作成
 - ・ PS ファイル形式（NetClient でのみ再生可）
※ 1 ファイルで作成
- の形式を選択できます。

保存する場所は指定できますが、指定が無い場合「NetClient」をインストールした場所の、フォルダ内に作成されます。



②-1 ファイルバックアップ操作

指定した日付内に録画されたデータをファイル単位でバックアップします。

手順 1

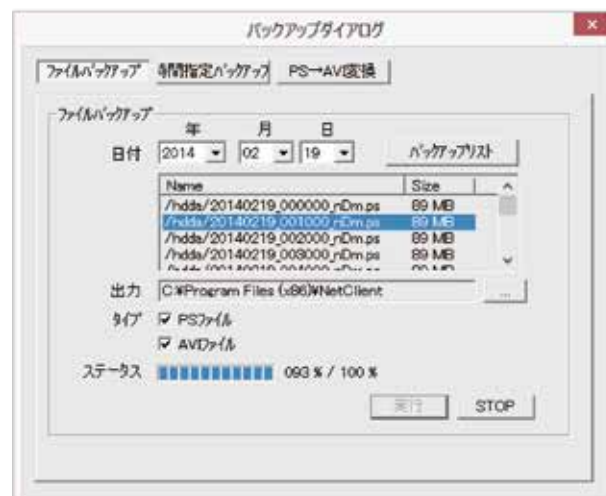
バックアップする日付を指定します。
「バックアップリストボタン」をクリックしその日に作成されたデータファイルをリスト表示します。

手順 2

リストからデータを選択し、クリックします。
出力：保存先を選択します。
タイプ：ファイル形式を選択します。

手順 3

「実行」をクリックします。ステータスで進行状況を確認できます。
「STOP」をクリックすると中断します。中断時はデータの無いファイルが作成されます。



②-2 時間指定バックアップ操作

録画データの日 / 時 / 分 / 秒 / チャンネルを指定して、開始時間～終了時間の間をバックアップします。

※指定した期間を保存できますが、長時間の場合処理自体も長時間となります。ネットワークの回線状況や PC の処理速度に影響します。短時間の証拠映像の抽出を推奨します。

手順 1

バックアップデータの範囲を選択します。
開始時間、終了時間を指定します。



手順 2

出力 : 保存先を指定します。
カメラ : 保存するチャンネル (カメラ) を選択します。
タイプ : 保存形式を指定します。

手順 3

「実行」をクリックします。ステータスで進行状況を確認できます。
「STOP」をクリックすると中断します。中断時はデータの無いファイルが作成されます。

②-3 ファイル形式変換

PS ファイル形式を AVI 形式に変換します。
その際はチャンネルを指定することができます。

手順 1

変換する PS ファイルを保存先から指定します。
また、変換後の AVI ファイルの作成先を指定します。



手順 2

カメラ : 変換するするチャンネル (カメラ) を選択します。

手順 3

「実行」をクリックします。ステータスで進行状況を確認できます。
「STOP」をクリックすると中断します。中断時はデータの無いファイルが作成されます。

③ ライブ映像へ戻る

操作を終えて、通常のライブ画面に戻ります。

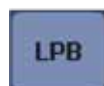


2-6 バックアップデータの再生（ローカル再生モード）

接続中の DVR からバックアップ操作で作成したデータを、再生します。

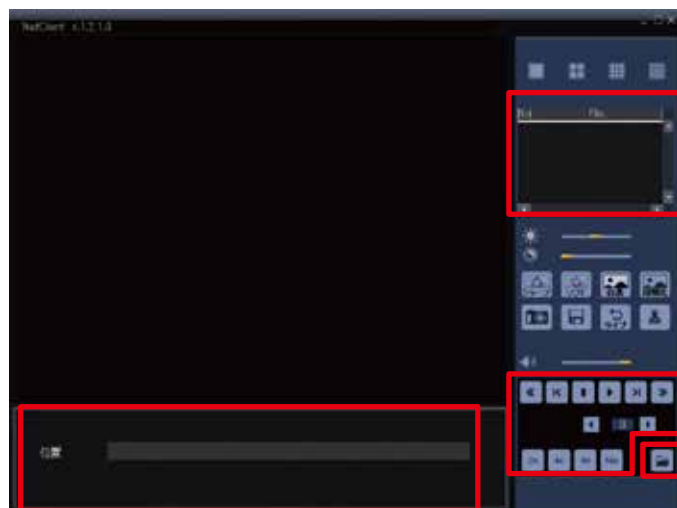
手順 1 再生した DVR をリストから選択し、ローカルプレイバック画面（LPB 画面）を表示します。

※別ウィンドウに表示されます。



←をクリックします。

手順 2 切り替わった画面で、検索して再生する日時を選択します。



●位置

録画データの再生位置を表示します。

●データ保存先

PC 内のデータの保存場所を表示します。

●操作アイコン

再生、一時停止、早送りなどの操作を行います。

●ファイルオープン

データの保存されている場所を表示します。
検索画面を表示して、PC に保存されている場所
を選択します。

手順 3 フォルダーオープン

画面内の「フォルダーオープンボタン」を押し、ファイルの場所を検索します。

お使いの PC 内のファイルが保存されている場所を選択します。

手順 4 ファイルの選択

ファイルの保存されているフォルダーから、再生したいファイルを選択します。

複数選択は可能です。

ファイル名は「20140000（年月日）_010300（時分秒）_nDm」です。

選択して「開く」をクリックすると「データ保存先」にファイルが追加されます。

手順 5 再生

表示されたデータをクリックしてから、「再生ボタン」を押します。

再生操作については、「リモート再生」と同じですので、P10 を参照してください。

手順 6 ライブ映像へ戻る

操作を終えて、通常のライブ画面に戻ります。

「ライブボタン」を押します。



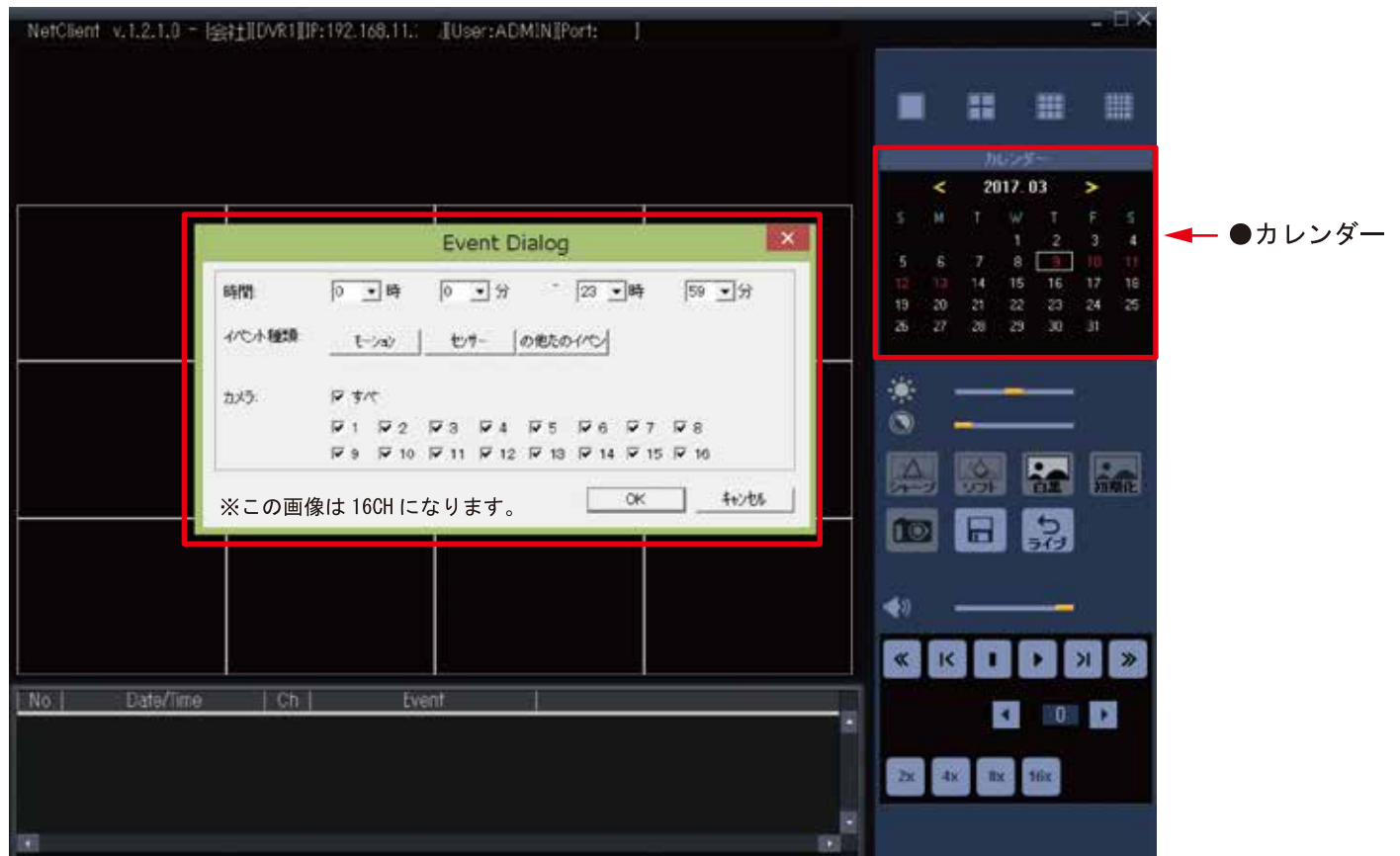
EPB(イベントサーチ)



←クリックします。

下図が表示されます。確認したい映像の年月日をカレンダーより選択します。

カレンダーから日付を選択すると、「Event Dialog」が表示されます。



表示したい項目を「モーション (MOTION)」、「センサー (SENSOR)」、「その他のイベント (USER/NETWORK など)」より選択します。(複数選択可)

xx 時 xx 分～ xx 時 xx 分を選択し、OK をクリックします。

指定した年月日に「モーション」、「センサー」、「その他のイベント」のデータがあれば映像が表示されます。

「モーション」、「センサー」、「その他のイベント」のデータが無ければメッセージ「RES_ERROR_LOG_ANY」が表示されます。

「OK」で閉じてください。

3 設定変更

NetClient のソフトウェア設定を行います。画面サイズや、表示 DVR の複数選択など、表示について設定します。

3-1 設定画面の表示

手順 1 設定画面を表示します。



←をクリックします。

手順 2 設定したい画面をクリックし、各設定の画面を表示します。



●設定項目

設定したい項目をクリックします。設定画面が切り替わります。

●設定画面

設定項目の選択により画面が変わります。

●復元 / 保存

復元：変更した項目を戻し、最後に保存した状態に戻します。

保存：変更した項目を反映させます。設定変更時には必ず操作してください。

手順 3 設定を変更したら、必ず「保存」をクリックして設定を反映させます。「保存」を押す前であれば、「復元」で設定をキャンセルできます。

3-2 各画面について

各設定画面と機能について解説します。必要に応じて操作を行ってください。

①ユーザー

ユーザー権限について設定します。

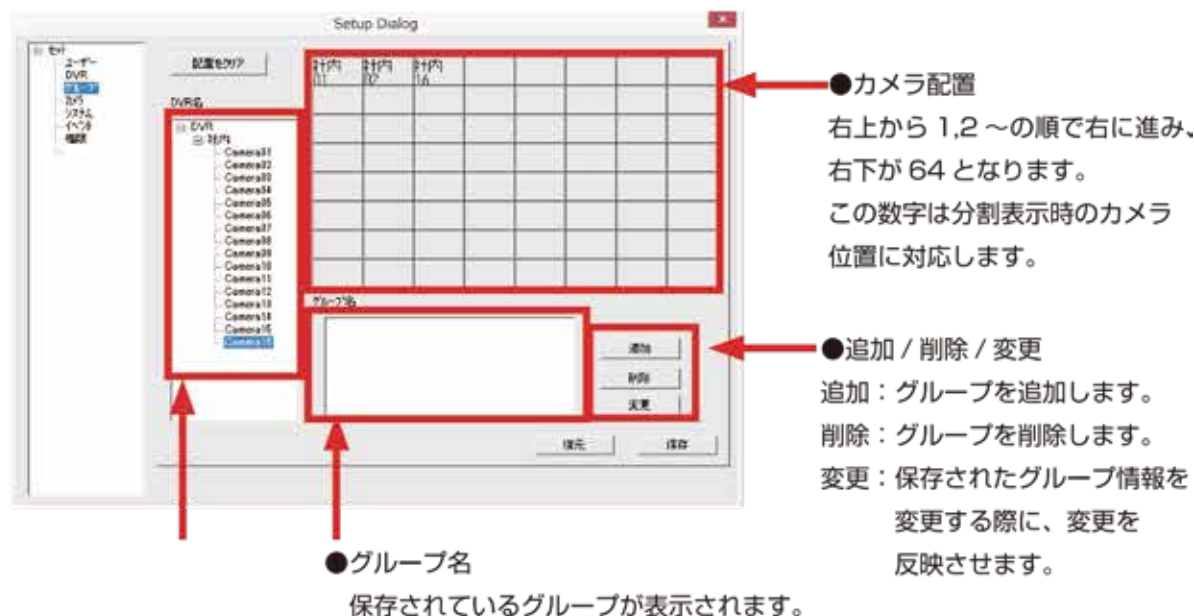
② DVR

DVR を登録する際に設定します。

③グループ

カメラを 64 分割の表示に割り当て、複数の DVR を一度に画面に表示します。

※同時に表示できるカメラ台数は 64 台までです。64 台以上を管理する場合はグループを分けて設定してください。



手順 1 グループの追加

画面内の「追加」のボタンをクリックし、新しくグループを作成します。グループ名は任意に設定できます。

手順 2 グループの追加

画面内の「追加」のボタンをクリックし、新しくグループを作成します。グループ名は任意に設定できます。

手順 3 カメラの配置

画面内の「DVR 名」に表示されている登録されている「DVR 名」または「Camera (カメラ)」を任意の場所に配置します。

カメラ 1 台単位、DVR 単位選択し、ドラッグして配置します。64 分割中のどの場所にも配置可能ですが、分割表示時に見やすいよう配置します。

手順 4 配置の決定

配置中に、配置場所に失敗した場合は、その位置をクリックすることでキャンセルできます。

一からやり直す場合は、画面上部の「配置をクリア」を選択します。

また、グループ登録やカメラ配置は「保存」をしない限り反映されません。

保存した情報からさらに追加などを行う場合は「変更」をクリックすると「保存」します。

グループを登録から消す場合は「削除」→「保存」で反映されます。

手順 4 接続

P9 を参照し、グループにアクセスすると、配置した順にカメラが表示されます。

グループ内すべての DVR へ接続し登録されたカメラ映像を表示します。

※同じグループ、カメラを配置した場合は、同じカメラ映像表示されます。

※画面が小さい場合、カメラの情報の表示は省略されます。

例：64 分割時は、時刻表示が省略されてチャンネルNoとフレームレートのみ表示されます。

※グループにアクセスする際は、全ての DVR との接続を一度切ってから行ってください。

アクセス時には、アクセスするグループ名を選択し、画面下部の「接続ボタン」をクリックします。



の状態で接続済となります。

DVR リスト		グループリスト	
[01]	[社内]	[192.168.1.199:1]	
[02]	[社内]	[192.168.1.199:2]	
[03]	[社内]	[192.168.1.199:3]	
[04]	[社内]	[192.168.1.199:4]	
[05]	[社内]	[192.168.1.199:5]	
[06]	[社内]	[192.168.1.199:6]	
[07]	[社内]	[192.168.1.199:7]	
[08]	[社内]	[192.168.1.199:8]	
[09]	[社内]	[192.168.1.199:9]	

④カメラ

NetClient の画面表示の内容を設定します。カメラ名や DVR 名、時間表示の ON/OFF を選択します。



OSD

表示する項目の ON/OFF を選択します。表示する場合は、チェックボックスをクリックして選択します。

レート

表示映像の縦横比を変更します。通常は「スクリーンレート」で表示します。

設定項目 ※設定は必ず「保存」をクリックして反映させてください。設定画面が消えると、映像に反映されます。

Cell No. : 配置された位置の No. (1 ~ 64) を表示します。

DVR 名 : 接続されている DVR 名を表示します。

アドレス : 接続されている DVR のアドレス (IP、DDNS) を表示します。

カメラ名 : DVR で設定されているカメラの名称を表示します。

時間 : 時刻を表示します。また、「年月日」の表示順を変更できます。

フレーム : DVR で設定されている録画フレーム数を表示します。

Bps : 通信速度 (XX kpbs) の数値を表示します。

イベント : モーション設定中の場合、知らせがきます。

スクリーンレート : NetClient 上での縦横比でカメラ映像を表示します。

オリジナルイメージレート : アナログ (縦横比 4:3) のカメラは、その比率で表示する状態になります。

情報テキストを含む : スナップショットを使用した時に、情報を載せるか載せないかを選択します。

⑤システム

NetClient についての設定を行います。



S/W アップグレード — 接続している録画機の S/W をアップグレードします。

後述の手順をご確認ください。

シーケンス — — — — —シーケンシャル表示（画面切り替え表示）の切替わり時間を設定します。

「0 秒（OFF）～ 60 秒」の間で設定します。単画面表示にした時点で設定どおりの時間で切り替え表示が開始されます。

自動接続 — — — — —NetClient 起動時に接続する DVR を選択します。初期値は「None（なし）」です。

チェックボックスを選択し、プルダウンメニューから項目（DVR）を選択します。

「1 台の DVR（登録済の任意の DVR）または DVR グループ」を選択します。

ログイン — — — — —NetClient 起動時にログイン画面を表示させるかどうか選択します。ログイン時の ID、パスワードは、「①ユーザー」で設定した内容を入力します。

「使用しない」場合は、起動時にはパスワード入力など不要になりますが、セキュリティ上必要に応じて設定してください。

プログラムモード — — —再生時（RPB や LPB 画面）をライブ映像とは別のウィンドウで表示する際に

選択します。チェックを外すと、1 つの画面で切り替えながらの表示が必要です。

ディスプレイモード —ディスプレイ上の表示サイズを設定します。

ディスプレイモードは、お使いのパソコンの環境に合わせてください。一般的なディスプレイでは初期値（Direct X Render）のままで使用します。

ディスプレイサイズは、「Auto（お使いのディスプレイに合わせて自動設定）～各種サイズ」を設定できます。この設定したサイズは固定で、任意にサイズ変更はできません。最大化・最小化のみ対応します。

変更を — — — — —接続している DVR の現在の設定情報（コンフィグデータ）をダウンロードして、他の機器へ設定情報を転送することができます。

ダウンロード時は任意の場所とファイル名を選択できます。同様にアップロードも行えます。「～.cfg」というファイルで行います。

また、DVR 本体から取得したコンフィグデータを、NetClient を経由してアップロードすることも可能です。

CONFIG データは「DVR の再起動」を選択して行い、設定を反映させます。

ネットワークモード —「再生確認プレビュー」機能にチェックを入れておくと、「リモートプレイバック」操作時に再生しようとする時間のプレビュー画面が表示されます。

⑥イベント

イベントに関連した表示について設定します。



アラームイベント——「イベントポップアップ」

イベント発生時に、設定されたカメラの画面を 1 画面表示します。

「アラームビープ」

イベント発生時に、ビープ音を発します。

「ハイライト」

イベント発生時に、設定されたカメラの画面枠を線で囲い検知時を表示します。

イベント———DVR 側で検知したイベント反応を、NetClient 側で通知します。ここでは、通知させたいイベントの種類を選択します。DVR 側で検知していても、この設定が有効となっていない場合 NetClient では通知されません。

「ビデオロス」

ビデオ信号が途切れた時（ビデオロス）時を認識します。

「モーション」

動体を検知（モーション検知）時を認識します。

「センサー」

センサー検知時を認識します。

「アラーム出力」

アラーム出力が発生した時を認識します。

「システム」

システム上での設定変更などがあった時を認識します。

イベントログ———イベントの起こったログ履歴を保存する場合に、チェックを入れます。また、ログの保存期間を設定し、自動的に削除します。

「使用しない（ログは削除されない）～保存期間（15 日～6 ヶ月）」で設定できます。

エラーメッセージ——DVR 側で発生した機器エラーを、NetClient 側で通知します。ここでは、

ダイアログボックス——通知させたいイベントの種類を選択します。DVR 側で発生していても、この設定が有効となっていない場合 NetClient では通知されません。

リモートアラーム制——各種検知時に、DVR の「アラーム出力」を ON/OFF 選択します。

御 ON の場合は、ボタンを押して選択します。

⑦権限

DVR 毎に NetClient 経由での操作権限、イベント表示権限を設定できます。



ユーザー ID ----- 権限を設定するユーザー ID を設定します。「admin (最高権限)」以外の追加作成ユーザー ID について設定できます。ユーザー ID の追加作成は①ユーザーで作成できます。

DVR リスト ----- 権限を変更したい DVR を選択します。チェックボックスにチェックを入れた DVR は同時に権限が設定されます。

イベント ----- ⑥のイベント通知の中で、システム変更時のみ選択できます。
アラームイベント ----- ⑥のイベント通知の中で、アラーム検知時は「ハイライト」表示のみ選択できます。
操作権限 ----- この権限で操作できる内容を選択します。

⑧ インターフェース ※1.1.1.0 以降



ディスプレイモードを設定します。

ディスプレイサイズを設定します。

シーケンス持続時間を設定します。

1 台の DVR か、DVR グループに自動接続する設定をします。

ログインする、しないの設定をします。

Program Mode 再生時の表示モードを設定します。

再生 UI 検索時にテーブルの情報に数字を表示する、しないを設定します。

⑧ PTZ ※1.0.4.15 以前

接続している PTZ カメラの OSD メニューを呼び出し、設定操作します。



PTZ カメラが接続されている DVR の場合、PTZ カメラの設定、操作を行います。また、PTZ カメラの OSD メニュー設定も行います。

※弊社製品「NS-AH902PRC」との接続時の操作案内となります。

※ NetClient で操作できる「プリセット、スキャン」機能は、DVR 側に登録された情報を元に操作します。PTZ カメラ側のプリセット機能呼び出すことはできません。

※ NetClient 側から PTZ カメラを直接操作できる項目は下記の項目となります。

- ホームポジションの設定、変更
- カメラ自身の機能の設定
- カメラ自身の PTZ 機能（旋回速度、再起動など）の設定
- プリセット、スキャン、パターンの各稼働の設定と、操作しない状態での自由稼働状態での動作。
例：ホームポジションを「ツアー」に設定し、操作終了後 10 分後自動的に、記憶させたプリセット位置を巡回する設定を登録します。

※操作できない項目は下記の通りです。

- カメラ側に保存されているプリセット、パターンなどの呼び出し

操作ボタン — — — — PTZ カメラの向きを上下左右操作します。または、OSD 設定画面ではカーソルの上下左右操作を行います。特に「NS-901PRC」接続時には、OSD 設定画面上では、「右」が決定の機能となります。

自動停止機能 — — — — NetClient で操作する場合の、ワンクリックでの稼働域を設定します。「0（稼働範囲が少ない）～ 1000（稼働範囲が大きい）」となります。細かな設定をする場合は数字が少ない方がよいですが、大きく画面を振る場合は、その都度数値を大きくしてください。※数値は 1000000 など大きな桁を入力できますが、操作処理上負荷がかかるため、最大 1000 までにとどめてください。この機能を有効とする場合には、チェックボックスにチェックを入れます。

サイト情報 — — — — 現在メニュー画面が認識している DVR と PTZ カメラの所属情報を表示します。
DVR 選択 NetClient 画面上での単画面表示時か、「カメラ選択」のチャンネルNoが
カメラ選択 PTZ カメラが接続されているチャンネルと一致しているか確認してください。

フォーカス — — — — カメラのピントを調整します。焦点の位置を「近い-遠い」の間で調整します。画面を見ながら操作してください。

ズーム — — — — カメラのズームを調整します。「イン（拡大）-アウト（広角）」の操作を行います。また、OSD 設定画面を操作します。「イン」は PTZ 設定画面ではプリセット画面などでの選択時に設定進行の操作を行います。

アイリス — — — — カメラの絞りの調整を、現在撮影している画像を見ながら行います。自動調整です。また、OSD 設定画面では、「オープン:メニューに戻る」「クローズ:メニューを進む」の意味となります。

プリセット — — — — DVR に設定されたプリセット位置を呼び出します。スクロールバーからプリセットナンバー（PTZ01 等）を選択します。また、「OSD Menu」を選択すると、PTZ カメラ側の設定メニューを呼び出し、カメラ内部の設定などを行います。（NS-901PRC 接続時）

スキャン — — — — DVR に設定されたスキャン稼働を呼び出します。スクロールバーから選択します。

ProEye2

iOS の場合 : App Store より「proeye2」を検索し、インストールします。

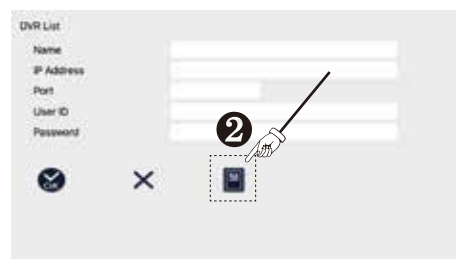
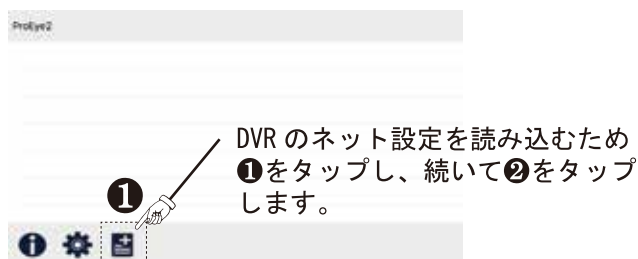
android の場合 : Play ストアより「proeye2」を検索し、インストールします。

「開く」もしくは、「proeye2」のアイコン



をタップし、開きます。

1.



スマートフォンの設定によって、下図が表示される場合もあります。
「OK」をタップします。

2.



DVR の menu より「基本設定」⇒「ネットワーク」
⇒「QRCODE」を選択し QR コードを読み込みます。



読み込みが成功すると、下図が表示されます。

3.



Name に覚書（名前）を入れます。



IP アドレスをタップします。

4.



遠隔で映像を確認することができます。



※接続が上手くいかない場合は、お使いの端末（スマートフォン等）の電源を一度切ってもう一度お試しください。

遠隔監視の DVR 登録方法

スマートフォン・タブレットで見る場合の設定方法

1. app store 又は play ストアで proeye2  と検索しインストールします。

2. アプリを開き画面上の  マークを押します。

Name : 任意

IP Address : LAN 内で見る場合

LAN 外で見る場合

Port : _____

User ID : _____ (初期 ID は admin)

Password : _____ (初期 Password は 0000)

3. すべて打ち込んだら  マークを押します。

4. List に上記で登録した名前が表示されますのでそれを押します。

5. Edit DVR List が開くので  マークを押すと映像が再生されます。

6. 再生画面から戻る場合は close を押すと戻れます。 ※再生中は通信料が発生しますので長時間の視聴にはご注意ください。

※ログインパスワードを設定したい場合は  マークを押して設定を開き

Password を ON にして任意の英数字を打ち込んでから

 マークを押すと設定することができます。

パソコンで見る場合の設定方法

1. 付属の CD をパソコンに入れ Net Client ソフトをインストールします。

2. デスクトップ上に  アイコンが表示されるのでダブルクリックで開きます。

3. 管理者としてログインします。(初期 ID:admin パスワード : 0000)

4.  マークをクリックし set up Dialog の中の DVR をクリックします。

5. DVR の登録をします。

サイト名 : 任意

DVR 名 : 任意

アドレス : LAN 内で見る場合

LAN 外で見る場合

ポート No. : _____

ユーザー ID : _____ (初期 ID は admin)

パスワード : _____ (初期パスワードは 0000)

カメラチャンネル数 : 設置された録画機のチャンネル数

※LAN 外から常時遠隔監視する場合通常のインターネット契約ではプロバイダから警告が来る場合があります。常時遠隔監視される場合はご契約プロバイダにお問い合わせください。

6. 上記を打ち込むと追加→保存の順で押し × で設定を閉じます。

7. 登録した DVR が DVR リストに表示されるので選択して  マークを押します。

8. 映像が再生されます。

proeye2 再生方法

①スマートフォン等より「proeye2」  をタップします。

②「proeye2」  が起動します。

③「DVR List」が表示されます。(図1)

④ご覧になるアドレスをリストより選択します。

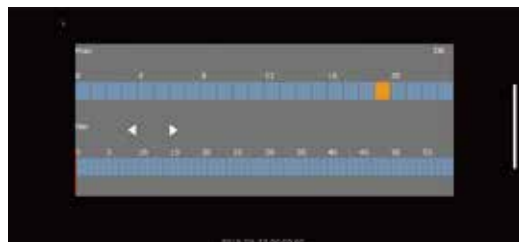
⑤「Edit DVR List」が表示されます。(図2)

⑥再生をするため「Edit DVR List」より  をタップします。

⑦カレンダーが表示されます。再生する「月日」を選択します。



⑧確認する時 / 分を選び右上の「OK」をタップします。



⑨再生画面が表示されます。



① CH- CH+ ◀▶ 🔍 ×

① CH- チャンネル切り換え (戻る)

② CH+ チャンネル切り換え (進む)

③ ◀▶ 巻戻し

④ || 一時停止

⑤ ▶▶ 早送り

⑥ ▶ 再生

⑦ 🔍 検索 (②に戻ります)

⑧ × 再生終了 (画面を閉じる)



(図1)



(図2:iOS)



(図2:android)

NetClient 再生方法



この画面が表示された場合は「はい」を選んでください。



ライブ映像を見るには



「OK」を選択します。登録が1機だけの場合は、このままライブ映像が確認できます。

再生するには



「RPB」を選択します。



再生したい日をカレンダーから選択します。



再生したい時間と分を選択します。(黄色をクリックします。)



再生ボタンをクリックします。